

# まちの声



今回の「まちの声」、1区11町内にお住まいの「坂井 博子さん」から、お話を伺いました。



**Q** 議会だよりの感想は？

**A** 気持ちはあるもなかなか議会の傍聴に行けない私にとっては「議会だより」が届くの毎回楽しみにしています。一般質問の要旨は、質問者の顔写真があり一層親近感を持って内容を読むことができます。見出しだけ読んでも、今、町にはこんな問題があるのかと分かることができます。友人達の中に、

以前よりは「議会だより」を関心を持って読むようになったという方々が何人かいます。少しでも町民が感心を持てる「議会だより」になつてきているとうれしく思っています。Q&Aコーナーは問も答も要約されていて、どの年齢層でも解りやすく読みやすいと思います。

**Q** 議会、議員に対して一言？

**A** 公私共に大変お忙しい中、議員さんお一人お一人が色々な面でよく勉強されて、町民の代表として町政のためにご尽力されていると感心しています。町民一人一人の小さな困りごとや、ささやかな願望でも取り上げてくださり、真剣に検討をしてくださる点、気軽に働いてくださる点、本当に頼りにしています。

**Q** 妹背牛町の高齢者、福祉対策についてはどう感じていますか？

**A** 関係各機関のきめ細かい気配りで、高齢者に対して優しく接してくださり、色々な生活支援をいただき、年に何回かの催し事を計画し、出不精になりがちな高齢者に外出の機会を作つてくださる点など、大変うれしく思っています。これからは、高齢者が増えるばかりで若い人に甘えてばかりでいられないと思います。無理をせず、若い人に迷惑のかわらない程度に頑張らなければいけないと思つていますが、身近なところで高齢者の孤独死を聞きますと、何とか地域からの孤立をなくし、孤独死がなくなるような手立てができればと願います。



## 編集後記

元号も平成から令和に変わり、初めての夏がやってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。早いもので4年が経過し、9月には改選の時期がやってまいります。現在の広報特別委員会のメンバーでの議会だよりの発行をするのも今回が最後になりました。

今回のメンバーは3人とも1期目の新人でありましたので、試行錯誤の連続ではありましたが、何とか発行してまいりました。内容につきましても、少しずつではありますが変化を加えながら、さらには町民の皆様の声も参考にさせていただきながら大変苦勞しながら発行させていただきました。

また、議会だよりを読んだよという声をいただいたときには、とてもありがたい気持ちになれ、更なる励みにもなりました。そんな中での編集作業でもありましたが、まだまだ満足していただけるものにはなっていないかもしれません。

今後とも議会だよりを読んでいただき、参考にさせていただき、皆様方からのご意見ご要望などをお寄せいただけますようお願いいたします。

### 広報特別委員会

- 委員長 鈴木 正彦
- 副委員長 石井喜久男
- 委員 広田 毅